

No.001

釣行月日: 2018年06月01日(金) 05:00 ~ 18:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 15

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 55尾, サイズ: 13cm ~ 19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, 韋駄天: 7号4本鉤

内容:

解禁日, 古座川は期待されていて人も多そうだし今回はパス。

全仏オープンで最近寝不足, 熊野へは国道168は夜間通行止めもあるので有田・龍神・富田経由で向かう。

夜中の山道は鹿に注意。道中5頭出沒。必ず見かけるようになった。

オトリ店では知人がお手伝いをされていた。初期の本流は難しいので支流へ。数週間前に見たときには大塔, 赤木と

アユが見られたので赤木へ行ってみる。空き地には前日から来られているのか数台の車が止められている。

目的地でもそうなのか? 到着すると2台止まっていた。

一人の方に聞くと橋の上へ入られるとのことなので昨年と同じ場所からのスタートとなりそう。

支度を済ませ, 薄暗い中河原へ降りてオトリを川につける。周囲が明るくなるまで待つことにする。下流には竿を伸ばして準備している。

5時にはオトリを出して始められた。すぐ掛かるだろうと見てるがなかなか掛からない。

自分も竿を出してみることにしてみる。今年は特に老眼が進んだことで仕掛けのセットに苦勞をする。

オトリを川の流りに馴染ませ泳がせるや即反応があり小ぶりながら掛かる。

なんや, 掛かるやんとオトリを付け替え出すやまた掛かる。今度は17cm程のアユ。

10尾位は簡単に掛かる。ポイントを少し変えながらやれば必ず掛かるといった感じ。

まさに解禁日のサラ場。しかし一通り釣れば厳しくなる。

今度は石の周辺をくまなく攻めて時間は掛かるが少しずつ数をのばす。

水温も上がってくると活性が上がってきたのか坊主ハゼの掛かる率が上がり, アユの掛かる率は下がる一方。

場所もなかなか変わることもできず全てのポイントを泳がせるしかない。

移動は自転車レースのため難儀するのは目に見えている。

歩いて釣るしかない。昼過ぎには下流にいた釣り人が居なくなり移動してみる。

残りアユを掛けて何とか40尾を超えた。橋の上流へ居た人も4時頃には居なくなったので上流へ移動。

橋のちょっと上でやるも掛からず根掛かり石と石の間に入り手が入っていかず最終は切れて損失。

ここで止めようかと思ったがさらに上の瀬肩のトロもあるし昨年は掛かったのもう少しやってみることにした。

するとオトリがスーと泳ぐや石裏の際に行くや反応が..., 良型が掛かる。

それをオトリにして瀬型のほうへ上へ行くやまた良い当たり。

入れ掛かりかも? 次から次へ掛かる。

しかし, 対岸の上に地元の方が河岸で何かの洗い物をし出した。その辺にいたアユが散り下流にいたオトリに反応があり当たりがなくなってきた。影響のなさそう少し下流でやってみる。ここでも掛かり始める。

しばらくやったら洗い物をやってた人が居なくなったのでまた瀬肩に移動。

トロでも掛かり55尾になったところで納竿した。



No.002

釣行月日: 2018年06月09日(土) 07:40 ~ 18:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 17

河川: 四村川・赤木川(和歌山県)

水況: 15cm程高水, 濁無し

釣果: 43尾, サイズ: 10cm ~ 18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

まずは四村川へ入ってみることにした。

いつもより水が高い。浅いところでは丁度良い状況に思える。水温も低くはない。

平瀬からスタート。良ければすぐに掛かるのだが...

掛からず、少し粘ってみるとキラリとしながら下へ下る。

ようやく天然に変わる。その後チビアユでオトリは厳しいサイズ。

上流の瀬に移動するも掛からず。

さらに上流へ歩いて2つ目の瀬でやってみる。

数尾確保できオトリキープといったところ。

さらに上流へ歩いてやるも掛からず。

また下りながら瀬でボツリボツリと追加する程度。

もう諦め場所移動しようとする。少し下に小さな瀬があり少し覗いてみようとするも掛かる気がしない。

駄目かなとちょっと上の浅場でオトリを見てると傍に野アユが来ているのが見えた。

暫く様子を見てたら掛かる。同じ様に泳がせてたらまた掛かる。

2時頃までやって30尾強。

前日の雨で水が増え濁りは無いがゴミが流れてくる影響があるのかアユが動きが今一なのか?

場所を赤木川へ移動。

前回夕方良かったト口場に行ってみる。

一発目はすぐに掛かりしかも四村川より少し大きめ。

次も掛かる。その後は厳しく根掛かりが多発。木の枝が多くやり辛い。

結局十数尾追加した程度で終了。



No.003

釣行月日: 2018年06月16日(土) 07:00 ~ 18:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 17

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 38尾, サイズ: 10cm ~ 18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT 早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

解禁からほとんど人が入っていないので状況確認のため竿を出してみることにする。

流石に釣り人が居なく貸し切り状態。

小さいアユが跳ねている。まだ早いのか?

左岸より慎重に泳がせる。やはりなかなか掛からず厳しいのか?

そうこうしているうちに何とか掛かる。

小さく黄色くない。オトリには何とか使えるくらい。

入れ掛かりはないが同じようなサイズしか掛からない。

対岸へ渡る。なぜか黄色いアユが掛かった。型も丁度よい。

連発はないものの飽きない程度に掛かる。

昼前から数人上下に来られたが50m以上の間隔なので掛かっているのか確認できなかった。
 昼頃から雲が出てきて風も強く竿を持つのが精一杯の時もあり体のあちらこちらが痛くなる。
 だんだんと寒くなってきて釣り日和ではない。
 夕方6時ごろまでやって40尾まで届かなかった。
 いつもの坊主ハゼにやられて仕掛けを何度も交換しなければならない。
 鼻カン周りは多めに用意しておいたほうがよい。
 7月頃にはもう少し掛かるペースが上がってくることを期待。



No.004

釣行月日: 2018年06月17日(日) 08:00 ~ 17:40

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 19

河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 41尾, サイズ: 10cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, 韋駄天: 7号4本鉤, キメラ: 6.5号4本鉤

内容:

民宿大村屋で宿泊していたので午前中はその前で釣り開始。

解禁は20尾程掛かり数日前も掛かったそうとか。

平場の浅い所から始める。掛かるアユは白く安曇川サイズ。数尾掛けたところでつり橋周辺に移動。

ここもサイズは小さいが型は少しサイズアップ。

今度は橋の下の深トロ。

ここは何匹かは良型が掛かるところ。

早速大石周辺を泳がせると目印が勢いよく水中に引き込まれた。

18cmの黄色いアユ。続けて掛かる。これでオトリが確保できたので少し場所を変えてやる。

良型の黄色いアユばかり掛かる。

亀屋まで移動したが小さい坊主ハゼが連発してきたので止める。

1時過ぎまでやって28尾。

大村屋さんが用意してくれてた弁当を食べてから場所移動。

出合周辺は5人前後いたのでパス。学校裏が空いていたので入ってみる。

瀬型の上のトロからスタート。思っていた以上の上流へ泳いでいくが何故か掛かる。

それも黄色い良型。瀬のきつい所や瀬肩は坊主ハゼの攻撃にあうことが多いのであえてあまりやる気が起こらない。

それでもトロでも坊主ハゼにやられてしまう。

結局掛かったのは深トロが殆ど。

もう少し日が照りこんでくれれば活性も上がったであろうに...



No.005

釣行月日: 2018年06月22日(金) 07:30 ~ 18:20

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 16

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 31尾, サイズ: 14cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

解禁日の2週間前に下見をしたときはアユが群れていてポイントも限られてそうなので暫くは他の河川に行こうと思っていた。

本日が自分にとって上桂川の解禁日となる。

何処に入ろうかと迷う。亀の甲橋下流に入ってみる。

棚のポイントが空いていたのでここからスタート。瀬落ちでひとり釣っていた。ポツリポツリと掛かっているのだろう。水温が低く追いはまいちとのこと。

水温も16度とまだあまり活性は良くないのか?

石裏の後ろの掘れた溝からスタート。

三本錨では蹴られてそうなので4本に変えるや勢いよく目印が走る。

20cmの良型とはびっくり。

入れ掛はなくポイントを的確に辛抱して泳がせて数を増やしていく。

平日にも関わらず場所移動できないくらいの釣り人となった。

昼過ぎまでやって18尾。水温が上がってきて活性が上がったのが瀬で掛かるようになってきた。しかし瀬で掛かるアユは15cm程。

場所移動することに。

中江橋でやろうと行くと満員状態。

さらに下流へ... 殿橋上流も人が一杯。

浅い早瀬が空いていたので入ってみることにした。あまり石が大きい活性が上がれば掛かるはずだが...掛からず。

上の瀬が空いたので行ってみる。

手前の瀬わきから入れて泳がせると目印が上流へ突っ込む。

2尾程掛かるも後が続かず。草刈りの草が流れてきて糸に絡んだり根掛りが頻発してオトリの循環が悪くなる。

夕方遅くまでやって何とか30尾強。

釣り人が多いので場所の選択が重要となってくる。

次回は何処へ行こう?



No.006

釣行月日: 2018年06月24日(日) 07:30 ~ 18:10

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 17

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 32尾, サイズ: 14cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

連日大勢の釣り人に攻められているのでポイントの選定に苦労する。

朝のポイント, 午後からのポイントと分けて考えてみる。

朝は少し水深があって流れが比較的なだらかで川底に変化のあるところ。

今回は山国神社の瀬落ち辺りから始める。朝早めなので何とか思っているポイントに入れた。石と石の間の流れで深みのあるところで泳がせるがなかなか掛からず。オトリが変わらないと釣りが続かなくなる。

約30分位かかっただろか少しアクションを与えた時に目印が上流へ走る。18cmのアユ。次は離れたポイントで15cmが掛かる。少しずつ下流へ移動しながらやるも単発でしか掛からない。10時過ぎ頃から期待をしていたが思うように掛からなかった。

もうこれ以上続けても無理と感じ上流へ行ってみる。釣り人は瀬から下へ集中しているその瀬肩から上流は小石底のト口場なので誰も居ない。左岸側に大きめの石が並んでいるのでとりあえずオトリを入れてみる。あまり攻められていないのかオトリがポイントへ行くとすぐに反応が。周辺で5尾程掛かった。

午後からは先日行った殿橋上流の浅場。水温が上がれば有望なポイント。

到着した時にはたまたまそのポイントが空いていたので早速入ってみる。最初はなかなか掛からず我慢の釣り。

1尾掛かれればポツリポツリ掛かる。掛かるポイントは広範囲で掛かる。

根掛が多発するのでゼロオバセ気味で止め釣りに近いやり方での釣りだが意外と良く掛かった。

チャラ瀬ではまだ掛かりにくい。

今後は水温が上昇してきてチャラ・トロがポイントになってくる可能性あり。



No.007

釣行月日: 2018年07月01日(日) 09:40 ~ 18:15

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 19

河川: 上桂川(京都府)

水況: 15cm程高水, 濁無し

釣果: 20尾, サイズ: 13cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

各河川が高水でやりにくそう、上桂川なら行けそうと藤吉さんらが初釣行を考えているということで、場所案内含めて同行。

前日に雨がちょっと降りすぎてさらに厳しい状況になってしまう。

園部経由なので下流から見ながら上流へ向かう。

日吉橋、栃本橋では8時半頃でも高水で濁りがある状態。

中江橋では釣り人はまだ少なく少し濁りがある。

黒田まで来てみると濁りは殆どなく水位は少し高い位なので入ってみる。

川間橋周辺で釣り開始。

最初は石裏など少し水深のある所を攻めるも掛からず。

辺りを歩いてポイントを探すも掛かる気配なし。

オトリが弱ってきてることもあり掛かる気もしない。

深い岩盤にアユが見えたので錘を付けてしつこく攻める。

諦めかけた頃に待望の当たり。20cm程のアユ。

オトリが変わると掛かるペースが上がってきた。途中、バラシや団子状態でどんぶりと3尾獲りこみ失敗で6尾。

この場所を諦め場所移動。藤吉さんらもポーズは逃れたとのこと。

アユの多い場所へと山稜橋に。

川遊びする人のほうが多く釣り人はいつもよりは少ない。

濁りも殆ど取れているが水位はまた高い。瀬ではまだきつそうなので深トロからやってみる。岩盤周辺で良型が掛かる。ペースが遅いので橋の下へ行ってみると浅瀬が良さそうに見えたのでやってみる。

どうかな~と考えていたら当たりが...。数尾掛かるもここもペースが遅い。周辺を探るも散發で群れアユのようだ。

元のトロ場に戻った時に藤吉さんらが深場で10尾程短時間で入れ掛かったとか。オオサンショウウオがやってきて抱きつかれたりしたそう。曳舟から匂いがしたのか？

初釣行で入れ掛りパラダイスもあって内心ホットした。

前日の雨がなければもう少し釣りやすかったのではと思うけど自然相手だとどうにもならない。



No.008

釣行月日: 2018年07月14日(土) 08:40 ~ 18:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 19

河川: 上桂川 (京都府)

水況: 15cm程高水, 笹濁り

釣果: 9尾, サイズ: 15cm ~ 18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(系): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨

内容:

延期になった漁協神吉地区の大会。

大増水後から1週間後でも笹濁り状態。水も高く苔が無い状態。

まだ追うような状態で無い感じだけど大会開始。

中江橋から上流へ歩いてみる。比較的に流れの緩い大石周辺を狙ってみたが掛からず。

橋の下流まで移動するもオトリ変わらず、結局〇で終了。

最高は5尾だった。かなり厳しかったのは確か。

皆で昼食後、自分は花脊まで移動してみることに。

交流の森に行ってみたら深場周辺は川遊びの人たちで大賑わい。

橋から上流へ行ってみるとやれそうなポイントは数か所程しかなくとりあえずやってみる。

大会で弱ったオトリでいけるか? 幸い水温が高くないので元気度は保てたみたい。

少し水深があり大きめの石がある所で掛るまで泳がせてみた。

待望の当たりが...、やっとオトリが変わりこれから友釣り開始。

しかし、合計3尾と期待外れで他周辺をやるも掛らず。

前回やった山稜橋の深トロ狙い。

ツ抜けは出来なかったが何とかこの場所で6尾掛った。

曳舟にはいつの間にやら山椒魚がうろついていたのにはびっくり。



No.009

釣行月日: 2018年07月15日(日) 08:00 ~ 18:15

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 18

河川: *****

水況: 濁無し

釣果: 28尾, サイズ: 10cm ~ 19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本锚

内容:

夜中出発予定だったが、ウインブルドンの準決勝ジョコビッチ(錦織が勝っていれば...) VS ナダルの試合が大接戦で興奮してしまい、少しの休憩もできず遠征出発。

比較的スムーズに行けたが途中睡魔がきてサービスエリアで仮眠。気付いた頃は薄っすら明るくなっていた。

運転再開、目的地の少し手前のサービスエリアで朝飯。目的地のICで降りて他の川をみながら目的地に向かう。

藤吉さんらは前日入りして釣りで落ち合うことに。

状況は例年に比べて良くなく半分前後の釣果らしい。

オトリ店でも釣り客にはあまり勤めてような? それほど状況が良くないとか。

とりあえず券を買って三桁ポイントへ。トシチャンのオトリを借りてお先に釣り開始。

思ったほど石の色は悪くない感じ。

まずオトリを変えるために少し水深のある色の良い場所を見つけながら200m程歩く。

今年初めてなので少し不安を感じつつオトリを泳がせる。

評判通りなかなか掛らず。でもそれなりに掛かってきたけどポイントを変えないと次が来ないので数が伸びない。

昼前には別河川が気になり藤吉さんと移動。橋の上から見るとアユが見えるのでもしかしたらという期待で入ってみる。

何だかこの河川は水温が高いなあと感じた。掛かるには掛かるけどペースはそんなに良くない。それにしてもかなりの暑さで水に浸からないと倒れそう。3時頃だったかあまりにも暑いので竿を畳む。橋の下の日陰で藤吉さんらも休んでいた。日陰に入ると結構涼しい。

トシチャンらも後から来られたけど川に漬けたらみんな死んでしまったとのこと。水温を測ってみると31度と友釣りにはかなり厳しい。

4時くらいまで休憩して元の河川に戻ることにした。その前に生きたオトリを運ぶには水温が高いので氷を買ってきていただき氷を少し入れて水温を下げてから移動。

広い河川に釣り人がひとり? あまりにも寂しい風景。言い換えれば貸し切り状態。

これからどうなるか? こちらの水温はまだ何とか感じる。

掛かるポイントがつかめず同じポイントでは掛からない難しい釣りになってしまった。



2018年版 [釣行回数: 19回 平均釣果: 41.9尾 総釣果: 797尾 1日最高釣果: 81尾 最長寸: 21cm]

No.010

釣行月日: 2018年07月16日(月) 10:00 ~ 17:15

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 23

河川: *****

水況: 濁無し

釣果: 35尾, サイズ: 10cm ~ 19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, 韋駄天: 7号4本鉤

内容:

遠征最終日。

朝はのんびりと近くに面白い風景があるというので藤吉さんらと遅い山に登ってみた。

夏なのに冷気を感じる不思議なスポット。

宿に戻って朝食をし釣り場に向かう。藤吉さんらのご家族でミュージアムで観光されるとのことで途中でお別れ。

オトリ店で券を買う。ご主人は川は厳しいので小アジ釣りに行かれたとのこと。

厳しいことで釣り人がかなり少ない。釣り場に行くとはいるか遠くにひとりの釣り人が見えるくらい。

今日も貸し切りか?

最初は白泡の所で5尾程掛かる。掛からなくなったら場所移動する釣り方で上流へ向かっていくことにした。

一ヶ所で数尾掛かったら場所移動していった。曳舟は沈めるようにして水温が上がらないよう注意。

やってみて感じたことはアユは少ないかもしれないがそれなりに居ることは確認できた。

追いが本格的で無いだけである時期になればもう少し数は出そうな感じ。石の色は悪くない。

2週間後辺りから良いのではと密かに期待している。



No.011

釣行月日: 2018年07月19日(木) 07:15 ~ 18:00

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 23

河川: 古座川 (和歌山県)

水況: 若干濁有り

釣果: 47尾, サイズ: 12cm ~ 21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, 韋駄天: 7号4本鉤, キメラ: 6.5号4本鉤

内容:

倶楽部の殿の釣果がすごかったので行ってみたくなった。昨年の終盤は良かったのでそのうち行こうとは思っていた。

到着があまりにも早かったので、一枚岩の前を見てみた。

大体の所で群れアユが確認できた。しかし追うようなアユは居そうもない。もう少し日が経てば掛るようになるかもしれない。それは何時なのか? 稲穂が垂れるころ?

券とオトリを調達してポイントへ。今回は相瀬でやってみる。

まずは流れの緩いところから開始。すぐに来るか期待したが流石に解禁日でもないで...

オトリの泳がせるコースを石と石の間を這わせたら来た。

黄色い綺麗な17cm程のアユ。

同じ場所では来ず少しずつコースを変えながら泳がせてみる。

単発ながら飽きない程度に掛る。午前中30尾。

昼からは場所移動も考えてがトロ場が掛からあかったので気になって再度トロ場を攻めてみることにした。

時間帯では掛るようになるか? と。

午前中と同じような所しか掛らず釣り返しがきかなかった。

結局ウロウロするも午前中の半分強となってしまった。

それにしても坊主ハゼの妨害には泣かされた。

仕掛けがクシャクシャになり時間のロスとハリのロスと... オトリは弱るし。

アユの掛るサイズは良く背びれの長い黄色く満足。



No.012

釣行月日: 2018年07月21日(土) 07:10 ~ 18:00

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 23

河川: 古座川 (和歌山県)

水況: 若干濁有り

釣果: 39尾, サイズ: 10cm ~ 21cm

仕掛(竿): 銀影競技MT 早瀬抜95SG

仕掛(系): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

場所を変えて再度古座川へ。

三尾川合流より上流に行ってみる。

入ろうと考えていたポイントには人が居たので、少し下流へ移動し入川。

支度をしていたら前日に釣りをされていたのかオトリ缶を回収に来られた。

話をすると上下でやられていたとのこと。厳しいかもしれないのもう一つ上の瀬肩に行って釣り開始。

程なくして掛るも小型。次に掛るのはさらに小さくオトリにならない。

辛抱してオトリを変えていくしかない。たまに16cmのが掛かり少しずつオトリの循環が良くなってきた。

ただ、連続で掛るようなことはなく広範囲に探る釣り方で午前中は約20尾程。

途中、藤吉さんが来られ下のトロでやられた。

最初の数尾は型も良かったが段々とサイズが小さくなってピリくらいまでになったとのこと。

午後からも釣るポイントを変えながらやるも午前中程の掛るペースが落ちてしまった。

トロやチャラはまだ本格化していない。



No.013

釣行月日: 2018年07月22日(日) 07:40 ~ 17:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 24

河川: 大塔川・赤木川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 34尾, サイズ: 8cm ~ 18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

いつもの様に民宿大村屋の前から始める。

浅場からやるも掛らず。少し深いところでオトリサイズが掛かる。

その後いつもの深トロでやるも一向に掛からず。周辺をウロウロするも掛ったのは他チビのみ。

場所移動することに。学校裏の大塔川が空いていたので入る。瀬はたぶんボウズハゼだらうからやらずにトロを中心に攻めてみることにした。最初は掛からずウロウロしながら深い大石のある所で黄色いアユが見えたのでオトリを入れたら即掛る。結局同じような場所で見釣り状態で行く。上流には浅いトロがあったのでやってみるとオトリに使えるサイズが掛かり少し時間かけてやってみる。中には追い気のアユもいて傍に近づけてしつこくやっていると勢いよく走る。

一瞬なので掛ったかどうかは判断できず。しばし楽しむ。

大体やり尽くして合計26尾になる。

請川に移動しようと思ったが人が居そうなので素通りし、赤木川へ。

思った程アユも見えず数も出なかった。前回よりもサイズが小さくなった



No.014

釣行月日: 2018年08月04日(土) 07:40 ~ 18:20

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 22

河川: 上桂川 (京都府)

水況: 濁無し

釣果: 32尾, サイズ: 18cm ~ 21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

前日は子供の夏休みの課題で夏の大三角の観測に付き合ったので、釣行は近場にしてみる。暑さで体力的にあまり移動は避けたいもの。

塩分、水分と気も使わねば。

朝の水温は20度をちょっと上回る程度と意外と低い。

浅場と深場のある山稜橋周辺にしてみる。

川の至ところで青藻が石に付着。ちょっとやりにくい。最初は掛かるポイントに苦労する。深場でオトリを変えられ同じようなポイントを重点的に攻めてみた。午前中で10尾強。

昼前には橋の上流の深トロで見釣り。

追い気のある野アユに持っていかれば掛かる。アユも大きく獲りこむのに時間がかかる。数尾は見切れで獲り込み失敗あり。

夕方遅くまでやって30尾超え。

午後からの水温上昇もあり1/3程のアユは死んでしまった。



No.015

釣行月日: 2018年08月14日(火) 07:00 ~ 18:15

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 64尾, サイズ: 12cm ~ 21cm

仕掛(竿): 銀影競技MT 早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, キメラ: 6.5号4本鉤

内容:

本流も濁りが取れて水位も安定してきたので敷屋へ。

今年も釣り人が殆ど見えない。昨日までは人も結構いたようだが...

河原をそれなりに歩かなければならず暑さが結構体にこたえる。

ツクツクボウシも鳴き始めこれからが本番か?

流れの変化のある所で緩い所から始める。オトリを放ち上流へ向かい1分も掛からずに掛かる。1時間10尾ペース。その後ボウズハゼの攻撃が続きペースダウン。場所を少し変えポツポツ掛かり昼までに35尾。

オトリ缶に移し場所を少し上流に変える。

何時もならトロで掛かるのだがあまり掛からず小型3尾のみ。

場所を変え少し深めの場所でテンボ良く掛かる。

しかし継続して掛からず午後はこまめに場所を変えてみた。

場所によりけり。オトリが弱るとなかなか掛からず。



No.016

釣行月日: 2018年08月15日(水) 11:20 ~ 17:30

天気: 雨時々曇, 気温: ?, 水温: 23

河川: 古座川・熊野川 (和歌山県)

水況: 若干濁有り, 高水

釣果: 21尾, サイズ: 7cm ~ 18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT 早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 6号4本鉤, 韋駄天: 7号4本鉤, キメラ: 6.5号4本鉤

内容:

朝から雨降ってるし早く行かなくて良いかな?

雨雲の様子を見てると今日はずっと雨?

日置川方向がまだましに思えたので行ってみようかと思いつける。

途中、富田川が良さそうに見えたけど...通過してしまった。

日置川にきたが濁りは殆どなく行けそうと高瀬の上流の橋に来た時谷から濁りが出ていた。高瀬をみると濁っているではないか。

こりゃ駄目だと下流へ下ってみる。安居や口ケ谷までは濁りは無いものの時間の問題と思いついて釣券買ってまあ。

諦め古座へ。

濁りはあまりなく竿を出せそう。小川に行ってみるも水が高くオトリが入りそうな場所も限られてそうなので本流の鶴川橋上流へ入ってみる。掛かるポイントが見えず掛かったのは小さくオトリには厳しい。

早々に諦め熊野川へ。

敷屋に到着したのが2時前。

昨日と比べ川幅が1.5倍に広がった感じ。

ただ昨日と比べて水位が30cm程高くなってポイントを探すのに結構苦労する。それでも掛かるところが判れば黄色いアユが掛かる。

釣りは居なく川遊びの人らがちらほら。時折雨が降り釣り気分ではない。

帰り着替えようとしたら激しい雨になり車の中で着替える羽目に。

明日はどうなることやら？



No.017

釣行月日: 2018年08月16日(木) 09:00 ~ 17:30

天気: 雨後曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 5cm程高水, 濁無し

釣果: 81尾, サイズ: 12cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技MT 早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

谷口オトリ店で本宮大社でも掛かってるとのことで行ってみることにした。請川から下流は支流の水が結構入っているのので水位が高くなっている可能性がある。

河原から結構歩かねばならない。場所移動は結構きついかも？

一日やるしかない。

川に来ると一面浅いザラ瀬が続く。石も丁度良い具合に入っていて水位も申し分ない。石の色を見ると5cm程高くなっている。

結果一日中一時間10尾ペースで掛かり続けた。

全てを回り切れていないのでポイントは結構ありそうだ。



No.018

釣行月日: 2018年08月18日(土) 07:20 ~ 17:20

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 22

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 72尾, サイズ: 12cm ~ 20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:



2018年版 [釣行回数 : 19回 平均釣果 : 41.9尾 総釣果 : 797尾 1日最高釣果 : 81尾 最長寸 : 21cm]

No.019

釣行月日 : 2018年08月19日(日) 08:20 ~ 17:10

天気 : 晴時々曇 , 気温 : ? , 水温 : 23

河川 : 熊野川 (和歌山県)

水況 : 濁無し

釣果 : 75尾 , サイズ : 13cm ~ 20cm

仕掛 (竿) : 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛 (糸) : ナイロン0.175

仕掛 (針) : V5 : 6.5号3本錨 , 一角 : 6号4本錨 , 韋駄天:7号4本錨

内容 :

